

九州運輸局メールマガジン 平成24年12月6日 第195号

～九州の明日を拓く運輸と観光～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

目次

1 九州運輸局ホームページアップ情報（11月29日～12月5日掲載分）

- ・各種情報
- ・分野別情報
- ・報道発表
- ・お知らせ

2 九州運輸局セミナー

1 九州運輸局ホームページアップ情報

（11月29日～12月5日掲載分）

----- 各種情報 -----

《九州統計情報》

踏切道数の推移（平成23年度）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/tetudou/pdf/pht2-23.pdf>

九州管内自動車数統計（平成23年度版）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/file01-02.htm

《入札・契約情報》

企画競争実施公示（平成24年12月5日分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

----- 分野別情報 -----

《観光》

国内観光「高速ツアーバス」及び「会員制高速バス」の定義等について を追加

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kanko/pdf/16-20121121kanchika.pdf>

《バス・タクシー・トラック》

タクシーの申請公示状況（平成24年12月3日付け）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/taxi_kouji2412.pdf

タクシーの申請・処分状況（平成24年11月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/taxi_syobun2411.pdf

《物流》

九州グリーン物流パートナーシップ推進協議会 メールマガジン第58号追加

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu_green/

----- 報道発表 -----

九州の外国人入国者数の推移について(9月分)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-1129-kokusai.pdf>

日韓旅客定期航路の月別実績について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-1130-ryokakuka.pdf>

年未年始の輸送等に関する安全総点検の立ち入りを実施します！

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-1130-anbokikan.pdf>

環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰

～優れた取組みを行っている事業者をたたえて顕彰～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-1203-1058.pdf>

----- お知らせ -----

平成 24 年度事故防止対策支援推進事業（運行管理の高度化に対する支援）の補助金申請受付期間を延長します。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/pdf/2012-1130-hoan.pdf

九州運輸局ホームページの閲覧停止について

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2012-1203-somuka.htm

2 九州運輸局セミナー

九州運輸局の各課から業務内容等を紹介するコーナーです。

今回は、海上安全環境部 船舶測度官です。

今年の6月21日、博多港に総トン数 137,276 トン大型豪華客船「ポイジャー・オブ・ザ・シーズ」が入港しました。

さて、この総トン数とはどのようなものでしょうか？

「トン」という言葉を聞くと皆さんは重さをイメージされ総トン数は、船の重さと考えられている方もいるかもしれませんが？

ここでいう総トン数は、重さではなく大きさを表す指標となっています。

総トン数は船舶の大きさを表す指標であり、船舶の構造設備、乗組員の資格配乗等の安全・環境基準をはじめ、租税・手数料の賦課基準や各種業法の基準として、40以上もの法律で広く用いられています。

この総トン数を算定するのが海事技術専門官(船舶測度官)であり、船舶のトン数の測度に関する法律等の規則に従い、船舶の構造を調査のうえ船体・甲板室の寸法を測定して、その容積を算定しトン数の数値を決定します。

< トンと呼ばれた理由 >

船の世界には、大きさを表す指標としていろいろなトン数があり、そのトン数には、容積に基づく『容積トン数』と重量に基づく『重量トン数』とがあります。

『容積トン数』とは、一定の基準により船舶の寸法を測り算出した容積に係数を乗じて得た数値に「トン」を付して表したもので、「総トン数」、「国際総トン数」、

「純トン数」などがあります。なお、ここでいう「トン」とは、単位としてのトンではなく呼称です。(ある説では昔々、イギリスで税金を徴収するために船の大きさを表す指標が必要でした。船の大きさはワイン樽をいくつ積むことができるかで表していました。ワイン樽を叩いたところ「トンッ」と音がしたのでトン数

というようになったようです。)

一方、『重量トン数』は、一定の基準により船舶の寸法を測り算出した数値をトン(1,000グラム)により表したもので、「載貨重量トン数」などがあります。

<トン数の種類>

様々なトン数の概要

容積トン数

・国際総トン数

「国際総トン数」は、船舶内全部の容積を算定し、外国に航海する船舶の大きさを表すために用いられる指標です。

国際海事機関(IMO)において制定された「1969年の船舶のトン数の測度に関する国際条約」に基づいて国際的に統一された計算方法により算出します。

・総トン数

「総トン数」は、船舶の大きさを表すための主たる指標として我が国における海事に関する制度に用いられる指標です。

「国際総トン数」の規定により算出した値に、係数を乗じて算定します。

・純トン数

「純トン数」は、貨物積載場所等の容積を算定し、旅客又は貨物を輸送するために使用される船舶内の場所の大きさを表すために用いられる指標です。

純トン数は船の中で直接利益を上げる場所の大きさ、即ち収益能力を表すトン数となることから、主に税金を定める指標となります。

「国際総トン数」と「純トン数」は、外国に航海する船舶が所持する国際トン数証書に記載されます。

・パナマ運河トン数及びスエズ運河トン数

「パナマ運河トン数」、「スエズ運河トン数」は、それぞれの運河を通航する際の通航料金を算定するために用いられる指標であり、それぞれの運河が定める規則によりトン数が算定されます。

重量トン数

・載貨重量トン数

「載貨重量トン数」は、貨物などを積んだ状態と降ろした状態の排水量の差を算定し、船舶が安全な航行を確保するために、貨物などの積める量を表すために用いられる指標です。

・排水トン数

「排水トン数」は、船舶の排水量、すなわち船舶の重量を表すための指標です。船舶の水面下の体積と同体積の水の重量は船舶の重量と等しいということから排水トン数を算定します。ただし、水が海水である場合には海水の比重(1.025)を乗じて算定します。

主として軍艦の大きさを表すための指標として用いられます。

トン数の使用上の注意

このように一口にトン数と言っても様々なトン数があるため、場合によっては誤解が生じる可能性もあります。ですので「この船は～トン」「～トンの船にはこれが必要」というような場合、どのトン数を言っているのか、どのトン数を基準にしているのか、ということをご確認して頂き、誤解のないようにして頂ければと思います。

総トン数は、安全、資格基準及び課税等の指標として広く使用されていることから各法令に基づき公正、公平な測度の実施に努めます。

【海上安全環境部 船舶測度官】

//////// 編集部より //////////////////////////////////////
体型があまり変わらず洋服代が浮いていた私も、50歳を過ぎてからの変化には落胆を隠せません。体重は変わらないのに、今までの洋服が入らなくなりました。柔軟性も衰え、朝晩のストレッチが欠かせなくなりました。運動も若い頃とは変えました。体幹を支える筋肉を保つことに重きを置いています。最近、コンクリート構造物の経年劣化が問題になっていますが、見た目は変わらなくとも劣化している部分はあると思います。点検方法も若者（新品）と老年（経年）とは違ってくるでしょう。

九州運輸局は、12月10日から1月10日まで、輸送機関等を対象に「年末年始の安全総点検」を実施します。老化に気づいた我が身としては、日頃の点検はとても大切ということを痛感しています。関係者のみなさんのご協力をお願いします。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html
本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などははこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html
九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）
mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp
Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192